

# 岡山のカイタク、木質建材を工事現場の敷板に 照り返し抑え 暑さ対策

2026/3/6 19:15 | 日本経済新聞 電子版



カイタクは熱中症予防につながるCLTの敷板を売り込む

土木資材のリースや販売を手掛けるカイタク（岡山市）は強度の高い木質建材である直交集成板（CLT）を、工事現場で重機が通る地面に置く「敷板」として売り込む。鉄製より軽量で輸送コストが安いという、照り返しを抑えて熱中症対策にもつながる。国が建設現場の猛暑対策を後押しするなか、全国の施工会社などからの需要を捉える。

リースや販売で提供する。繊維が交差するように貼り合わせて強度を高めたCLTを使うため、上を重機や工事車両が通っても割れにくい。産学連携で開発した塗料を使い、木材を腐りにくくした。カイタクの坂手剛営業部長は「鉄の敷板の市場を木に代えていきたい」と意気込む。

国土交通省は2025年12月に工期設定や熱中症対策の経費など、建設現場の猛暑対策向け支援策をまとめた。カイタクの計測では、猛暑日の敷板の表面温度はCLTが鉄製より20度ほど低かったとし、熱中症予防の効果を訴求する。